

公益財団法人日本環境協会理事賞

最近の水とかんきょうについて

東町小学校 五年 山本 采

川は私たちのくらしにとっても大切な役わりを果たしています。まず第一に川は、生き物のすみかです。きれいな川にはあゆ、ほたるなどの生き物が住んでいると言われています。きわめてきたない川には生き物はすめません。次に、農業用水としても使われています。河川を流れる水が用水路に引きこまれ、農地に流れます。おいしい米や野菜は河川を流れる水にささえられています。農業用水は私たちの食生活と命の大切な水だと思えます。そして、お風呂や飲み水にも使われています。私が夏休みに旅行でおとずれた、くま本市では水道水はあその天然地下水100%ミネラルウォーターです。消毒せずに水道水が飲めるのは健康にも良いし、水のしよ理が必要ないので余分なエネルギーを使わず、エコロジードと思います。また、私の友達のそ父が山を持っていて、すんだ水のながれる小川で水遊びをしているという話を聞きました。私はこのようにきれいでみんなが遊べる川がもつとふえれば良いと思います。

しかし、日本全国で工場がすぎつぎに建設された1960年代には、工場からだされる排水の多くはきたないまま川に放流されていたそうです。そのため、化学工場の排水にふくまれていた重金ぞくが原因で、さまざまな公害病が起きたと言われています。工場排水の汚れが大きな社会問題になりました。

このようなことをきっかけに、工場の排水について国の基準がきびしくなり、工場でも排水をきれいにしようという考え方が広まりました。大きな工場では、排水をきれいにして川や海にもどす設備をととのえるようになってきているそうです。

だからと言ってこれで安心と言うわけではありません。夏休みに東京都水の科学館に行った時に、天ぷら油500mlを流すと、それをきれいにするのに840杯分の水が必要だと言うことを知りました。少しでもはいき物を流すと川を元にもどすのは大変だと言うことが分りました。

だから、私は中小の工場でも汚れた水をきれいにする設備をととのえることが出来るよう国がほ助すれば良いのではないかと思えます。また、私が出ることとして、食べ終わってお皿についた調味料(ケチャップ等)を新聞紙などでふき取って棄てるようにしたいと思います。そうすることで、下水に流れる油等がへるからです。